



第12回上田八木・金融政策サーベイ(2017年6月)の結果について

～6月のMPM予想は99%が政策変更なしの見方。O/N、2年金利の見方は概ね不変。
10年金利予想DIは前回比11%ポイント低下。出口開始時期は今から1年以上3年未満との見方が増加。

2017年6月14日(水)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

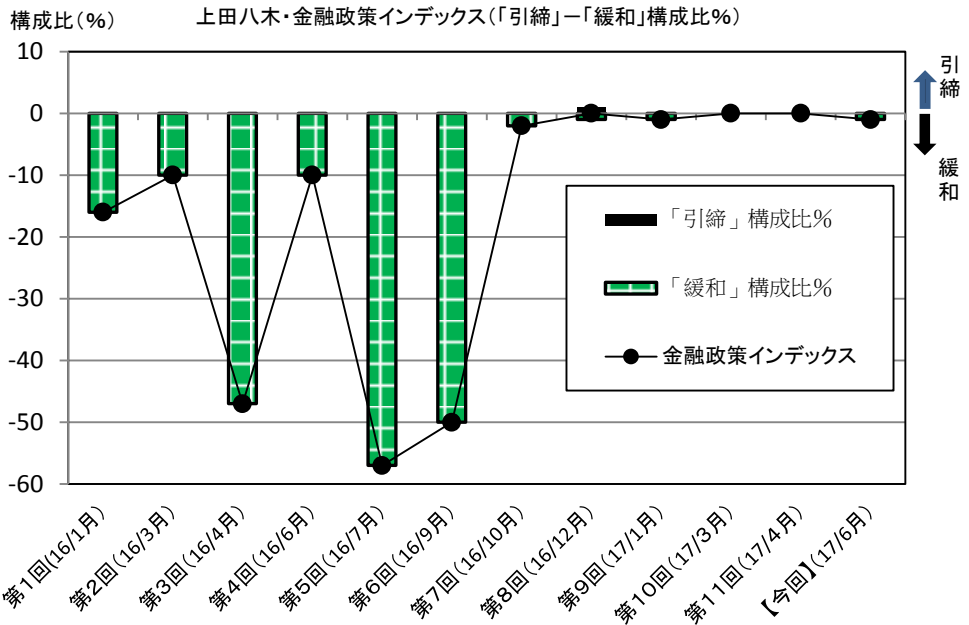
- 回答者(188先)のうち99%が6月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 3か月先の無担保コールON金利予想DIは前回と同じ(+9)。2年国債金利予想DIは+13と前回(+14)とほぼ同じ。10年金利予想は上昇予想が減少し、DIは+14と前回(+25)よりも11%ポイント下落した。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年以上3年未満」の見方が72%と前回(66%)より増加。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(198先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年6月9日～13日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	95.4% (回答者数189先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(6月15日～6月16日)における決定について



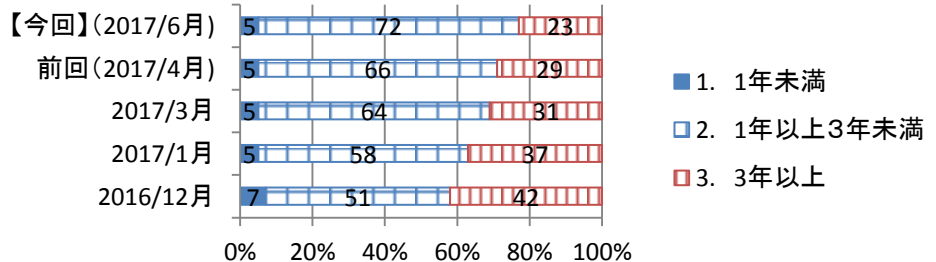
回答者の99%が「不変」の見方(前回100%)。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲1だった(前回0)。

(ご参考)

【今回5回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

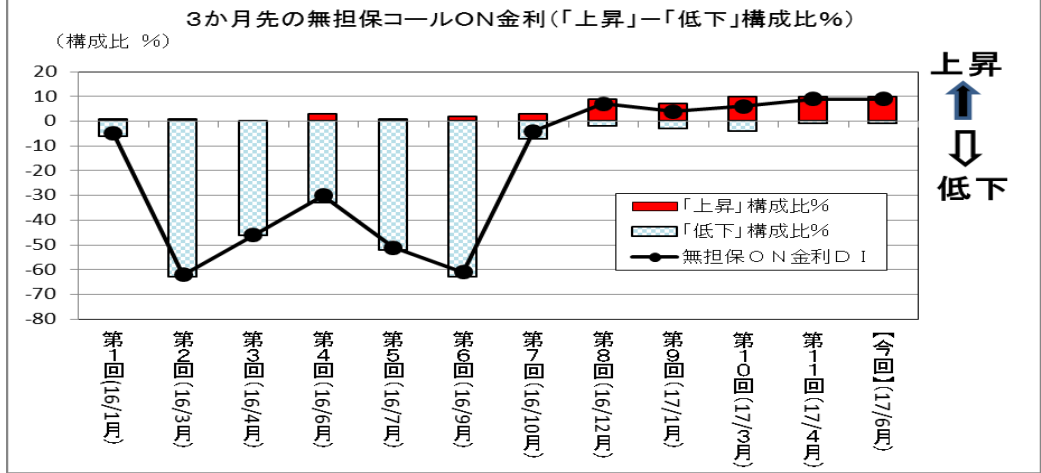
1年以上3年未満と回答する先が72%に増加(前回6%)。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の89%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は10%だった。

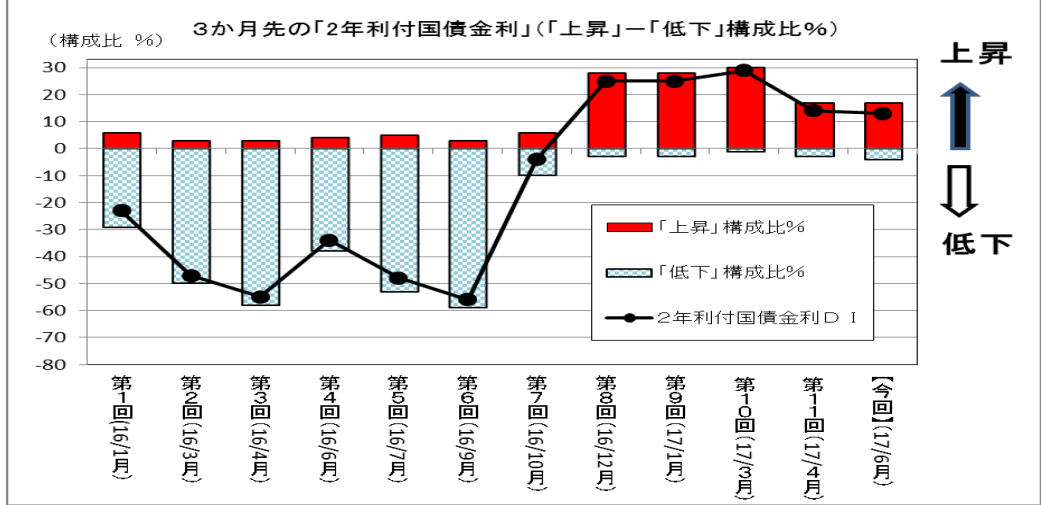
前回と同じ結果。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の79%が「不変」を予想。4%が「低下」。「上昇」を予想した先は17%であった。

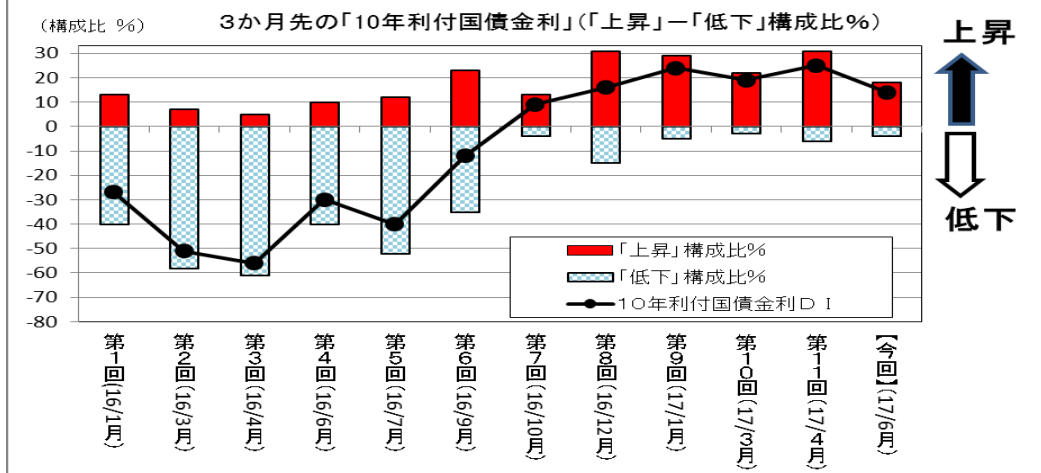
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回3%→今回4%)。「不変」とみる先が▲1%ポイント(前回80%→今回79%)。「上昇」とみる先は前回と同じ(17%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の78%が「不変」を予想。4%が「低下」。「上昇」を予想した先は18%。

前回との比較では、「低下」とみる先が▲2%ポイント(前回6%→今回4%)。「不変」とみる先は+15%ポイント(前回63%→今回78%)。「上昇」とみる先は▲13%ポイント(前回31%→今回18%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)